

STK & ODTK 13 インストール手順

2025 年 12 月

LSAS Tec 株式会社



目 次

	ページ
1. 推奨動作環境.....	1
1.1 サポート OS.....	1
1.2 ハードウェア仕様.....	1
2. 準備.....	2
2.1 インストーラの取得.....	2
2.2 ライセンスファイルの取得.....	3
3. STK、ODTK のインストール	6
3.1 インストーラの起動.....	6
3.2 その他インストーラ操作によるインストールが必要なモジュール・プラグイン.....	11
4. ライセンスファイルとサーバーの設定.....	12
4.1 ライセンスファイルの認証.....	12
4.2 ライセンスサーバーに接続する	14
5. STK、ODTK のアンインストール.....	16
6. Ansys License Manager のアンインストール	17
7. トラブルシューティング.....	18
7.1 ライセンスに関するトラブルシューティング	18
7.2 その他トラブルシューティング	23
8. お問い合わせ先.....	23

この資料は AGI(Ansys Government Initiatives)の STK(Systems Tool Kit)、ODTK(Orbit Determination Tool Kit)のインストール作業について、LSAS Tec がまとめたものです。

対象バージョンは STK ODTK 13 です。

1. 推奨動作環境

1.1 サポート OS

- Windows 11
- Windows 10
- Windows Server 2016
- Windows Server 2019

注: Widnows8.1、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 をサポートする最後のリリースは、STK12.7 となります。

1.2 ハードウェア仕様

STK、ODTK をインストールするマシンのスペックが表 1.1 に示す System Requirements を満たしていることを確認してください。

表 1.1 System Requirements

Hardware	Requirements
Memory / RAM	8GB (最低); 16GB 以上 (推奨)
Disk Space	5GB (最低); 500GB 推奨 使用するサプリメンタルモジュールやデータプロダクトによります 参考: サプリメンタルモジュール https://help.agi.com/stk/index.htm#install/supplementalModules.htm
Graphics Card	Graphics Card は OpenGL 4.5 をサポートしていること 4GB (最低) 注意事項:AGI は、STK をインストール前に、Troubleshooting Graphics Card Issues topic をご確認ください。 参考:Troubleshooting Graphics Card Issues https://help.agi.com/stk/index.htm#install/graphicsCardTroubleshooting.htm
Network Hardware	STK、ODTK はネットワークアダプターを必要としていませんが、AGI はネットワークが利用できる環境を推奨しています。ネットワーク環境なしに、Online Operation を使用することはできません。

注:STK はコンピュータ内の複数コアを使用し、計算パフォーマンスを向上させることができます。multiprocessing を使用して並行に実行できる計算・解析のリストについては、STK Parallel Computing Overview の概要トピックを参照してください。

参考: STK Parallel Computing Overview
<https://help.agi.com/stk/index.htm#parallel/overview.htm>

2. 準備

- ① STK、ODTK インストーラ
AGI ウェブサイトからインストーラをダウンロードします。
- ② STK、ODTK ライセンスファイル

保守契約締結ユーザー様は、LSAS Tec にご依頼ください。2 週間の評価版ライセンスをご利用の方、STK、ODTK 以外の Ansys 製品をご利用中の方は AGI (<https://www.agi.com/>) もしくは Ansys 社ウェブサイト (<https://www.ansys.com/>) から申請願います。

2.1 インストーラの取得

以下の URL より AGI ウェブサイトにアクセスし、インストーラを入手します。

<https://www.agi.com/>

AGI ウェブサイトの上部(図 2.1)より、「Support」を選択し、「Downloads」をクリックします。Download ページ(図 2.2)をご覧ください際、AGI ウェブサイトにログインする必要があります。未登録の方はウェブサイト上部右上の「SIGN IN」より「Join」を選択し、アカウント登録を行います。



図 2.1 AGI ウェブサイト上部

Downloads のページで STK をクリックしてインストーラをダウンロードします。STK Pro をお使いになる場合は「Systems Took Kit (STK) Pro & ODTK (v13.0.x / 2025r2)」を選択します。STK Premium Space & ODTK、STK Premium Air & ODTK をお使いになる場合は「Systems Took Kit (STK) Premium & ODTK (v13.0.x / 2025r2)」を選択します。STK Enterprise の場合は「Systems Took Kit (STK) Enterprise & ODTK (v13.0.x / 2025r2)」を選択します。評価版ライセンスをご利用の場合はこちらからダウンロードします。



Software Downloads

AGI

Ansys

Important service packs are now available for the 2025 R2, 2025 R1 and 2024 R2 releases, with enhanced security added to remote communication APIs (including gRPC) used within our products.

Additionally, the DME data server is online and updated ⇒ [Read more](#)

On this page you'll find the download packages for the most recent versions of all our products. Click a product name to download its installer. Click a link in the SHA-256 column to copy that product's checksum to the clipboard. Click "Release Notes" in the Details column to open that product's Help.

— Previous releases ([12.10](#) | [12.9](#))

— Archived releases (12.8 and earlier) - contact support@agi.com

— [Ansys customer portal](#)

Desktop Products

STK Pro	Size (MB)	SHA-256	Details
Systems Tool Kit (STK) Pro & ODTK (v13.0.1* / 2025r2.2)	5,496	3E614A3BB8FC9D8...	Content Release Notes
STK Premium (Air or Space)	Size (MB)	SHA-256	Details
Systems Tool Kit (STK) Premium & ODTK (v13.0.1* / 2025r2.2)	7,470	14B1C3DE26C51BF...	Content Release Notes
STK Enterprise (includes TETK)	Size (MB)	SHA-256	Details
Systems Tool Kit (STK) Enterprise & ODTK (v13.0.1* / 2025r2.2)	7,943	DF02BE39E3A7CE1...	Content Release Notes

図 2.2 AGI ウェブサイト:ダウンロード画面

2.2 ライセンスファイルの取得

STK、ODTK のライセンスファイル取得方法は共通であるため、以下では STK のライセンスファイル取得方法のみご説明します。

STK12.3 以降から、主なライセンス形態は LAN ライセンス (Network ライセンス) となりました。LAN ライセンスはネットワーク上の任意の PC から、購入いただいたライセンス数を上限として、同時にご利用いただけるもので、ライセンスサーバーとなるマシンが 1 台必要になります。最小となるマシン構成は、ライセンスサーバーと STK を同一のマシンにインストールする構成で、STK12.2 以前の Nodelock 相当の運用となります。

STK12.4 以降から、USB Dongle のライセンス形態もサポートいたします。Dongle ライセンスはライセンスサーバーの認証を USB 接続のポータブルデバイスにより行うものです。

この資料では LAN ライセンスのセットアップ方法をご案内いたします。Dongle ライセンスをご希望の方は、4 章の設定が異なりますので、弊社のサポート担当までお問い合わせください。

LSAS Tec から取得

ライセンスをご利用いただく際には、STK サーバーとしてお使いのマシンの MAC アドレスまたは DISK ID をお知らせください。弊社にて AGI にライセンス発行を依頼します。

AGI ウェブサイトから評価版ライセンスの取得

評価版ライセンスで STK をお試しいただく場合は、AGI ウェブサイトの上部より、「Support」を選択し、「Licensing」をクリックし「STK Enterprise Evaluation」のページに移動します。(図 2.3)

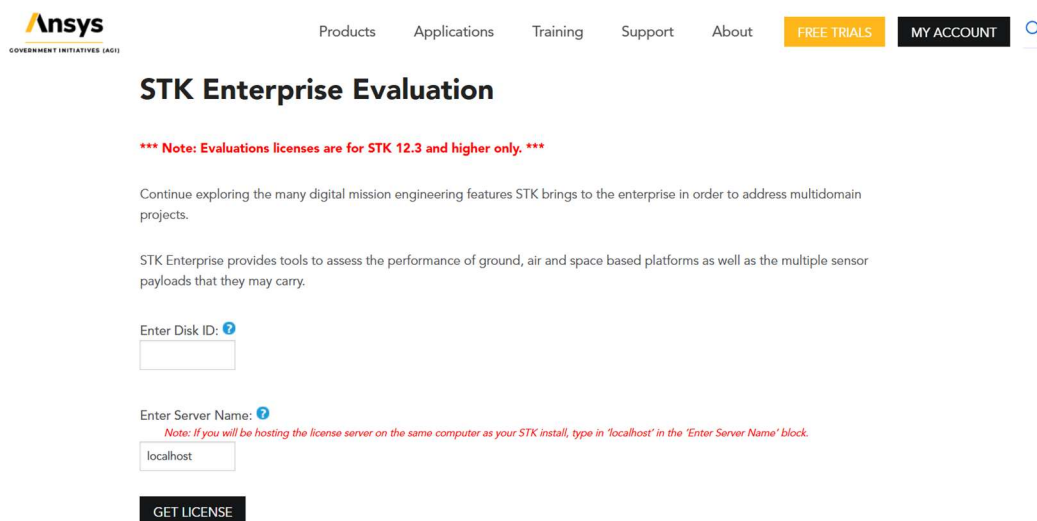


図 2.3 AGI ウェブサイト:STK Enterprise Evaluation 画面

「STK Enterprise Evaluation」のページより、評価版 STK をお使いになるマシンの Disk ID (Disk Serial Number)と Server Name (Host Name)を入力します。

Disk ID の取得方法(図 2.4)

Windows のスタートメニューにcmdと入力し、コマンドプロンプトを起動する

- 1) vol と入力する
- 2) 「Volume Serial Number is ○○○○-○○○○」の 8 桁の英数字をメモする
- 3) 「STK Enterprise Evaluation」ページの Disk ID 欄にハイフン(-)を除いた8桁の英数字を入力する

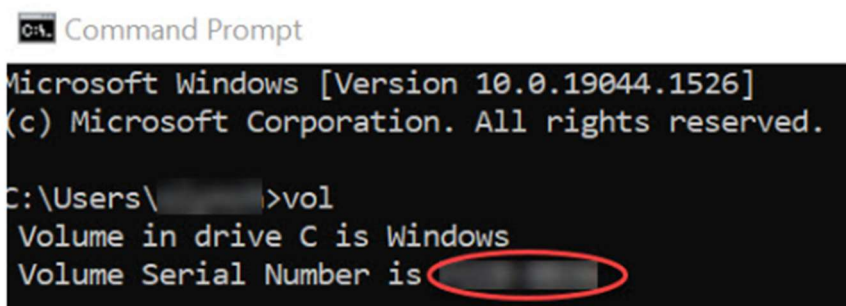


図 2.4 コマンドプロンプト vol の実行結果

Server Name の取得方法(図 2.5)

- 1) Windows のスタートメニューに「cmd」と入力し、コマンドプロンプトを起動する
- 2) 「ipconfig /all」と入力する
- 3) 「Host Name.....」の後に表記された名前をメモする
- 4) 「STK Enterprise Evaluation」ページの Server Name 欄に入力する

```
Command Prompt
Microsoft Windows [Version 10.0.19044.1526]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\>ipconfig/all

Windows IP Configuration

Host Name . . . . . : 
Primary Dns Suffix . . . . . : stk.com
Node Type . . . . . : Hybrid
IP Routing Enabled. . . . . : No
WINS Proxy Enabled. . . . . : No
DNS Suffix Search List. . . . . : stk.com
                                   myfiosgateway.com
```

図 2.5 コマンドプロンプト ipconfig/all の実行結果

Disk ID と Server Name を入力し、下の「Get License」ボタンをクリックします。リクエストが AGI に送信され、AGI 側で承認がとれたら、ライセンスファイルがメールで送付されます。

3. STK、ODTK のインストール

準備した STK & ODTK v13 インストーラから STK、ODTK のインストールを行います。以下では STK Pro & ODTK のインストール方法をご説明しますが、STK Premium space & ODTK、STK Premium Air & ODTK、STK Enterprise & ODTK をご購入の場合も同様のインストール方法です。

3.1 インストーラの起動

- 1) STK & ODTK v13 インストーラ内を確認します。「Ansys_STK_Pro_ODTK_v13.0.x」の ZIP File を解凍したのち、対象のフォルダを開きます。フォルダ内にある install.exe を実行します。(図 3.1)

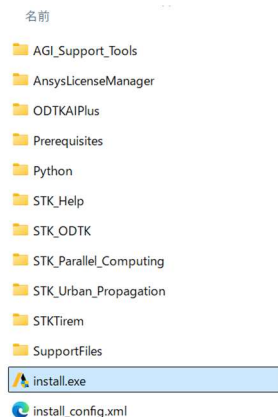


図 3.1 インストーラの保存場所

- 2) 準備した STK & ODTK v13.0 インストーラから STK、ODTK のインストールを行います。既に STK12.10 以前の STK、ODTK7.10 以前の ODTK が入っている場合は、事前に AGI Software Uninstaller アプリケーション(スタート>AGI Support Tools>AGI Software Uninstaller)でアンインストールを行います。(詳細は6章を参照してください。)インストーラを実行すると License agreement の画面が表示されます。(図 3.2)「I agree to ...」のチェックボックスにチェックを入れ、Next ボタンを押して次に進みます。

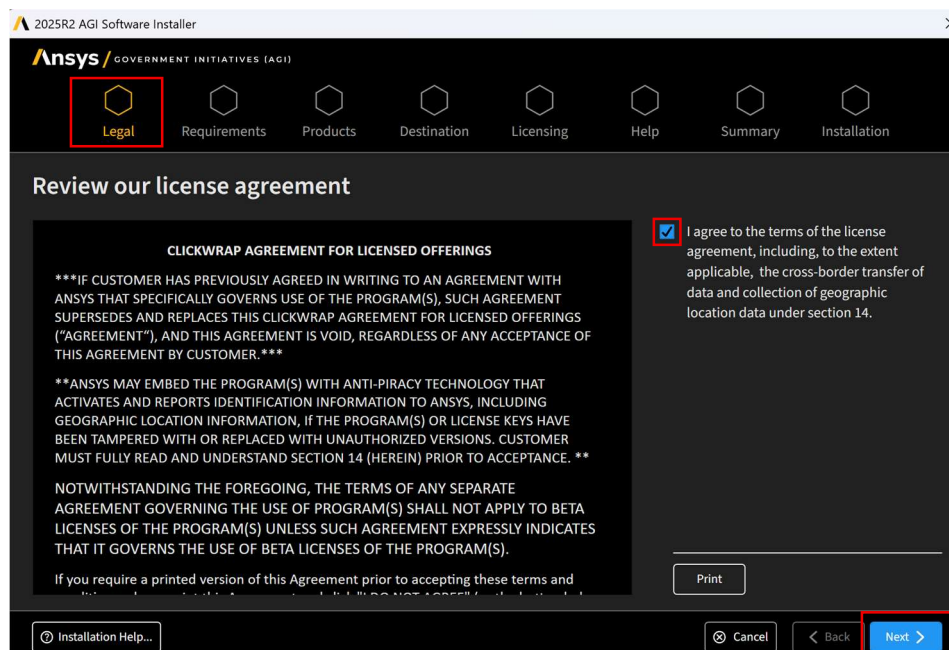


図 3.2 License Agreement

- 3) System Requirements が表示されます。(図 3.3)ご利用のマシンが System Requirements を満たしていることを確認したうえで Next ボタンを押し次へ進みます。

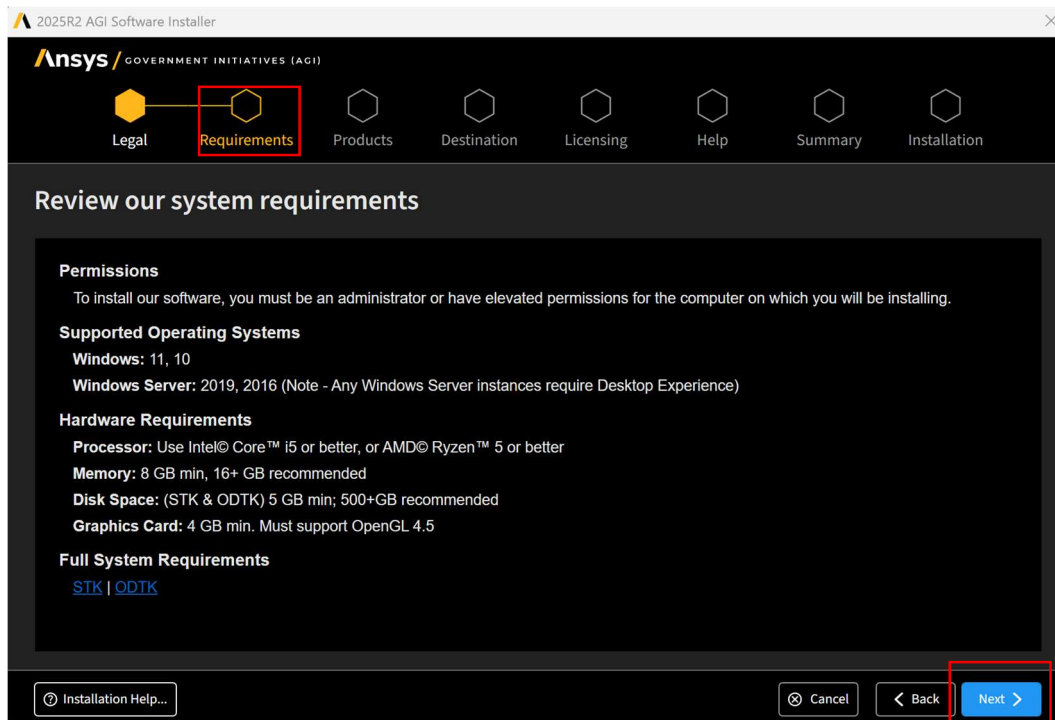


図 3.3 System Requirements の確認

- 4) インストールする製品を確認します。(図 3.4) STK & ODTK v13.0 では Systems Tool Kit (STK) と Orbit Determination Tool Kit (ODTK) が同時にインストールされます。確認後 Next ボタンを押して次へ進みます。

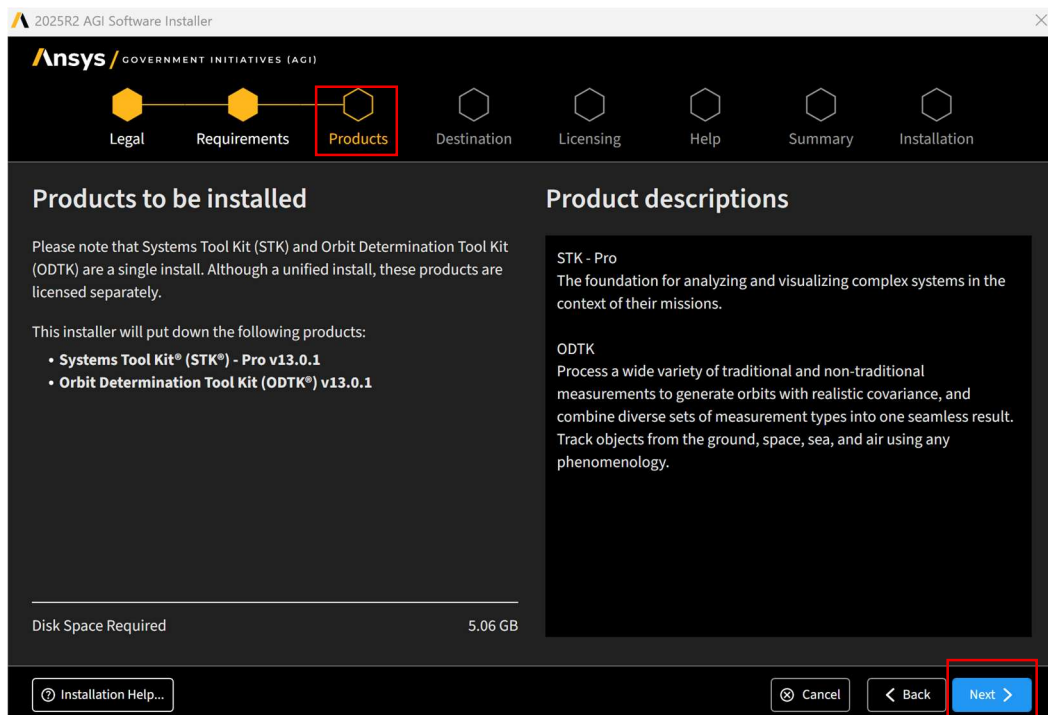


図 3.4 インストールされるプロダクトの確認

- 5) STK および ODTK のインストール先のフォルダを選択します。(図 3.5)特に理由がない限りデフォルトのまま Next ボタンを押し、次に進みます。

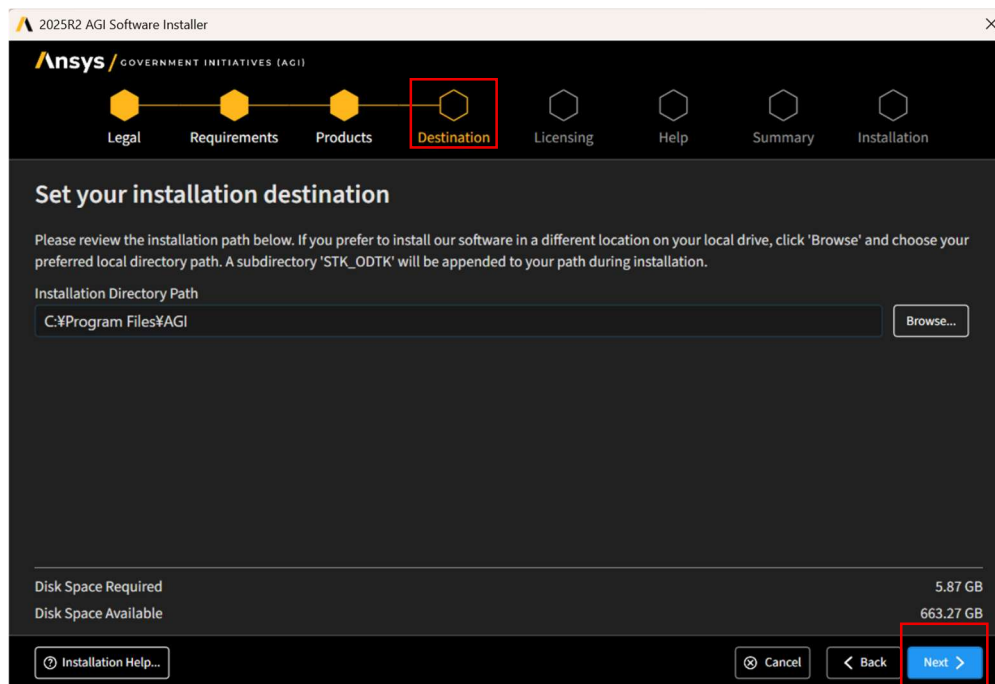


図 3.5 インストール先

- 6) Ansys License Manager が必要かどうか確認されます。ライセンスサーバーと STK を使うマシンが異なる場合、「Are served across a network (I do not need to install ALM)」を選択してください。STK を使うマシンにライセンスファイルをインストールする場合、「Are stored locally on this computer (I need to install ALM)」を選択してください。(図 3.6)すでにライセンスファイルがマシンにインストールされている場合、選択肢は表示されずインストールする設定になります。(図 3.7)

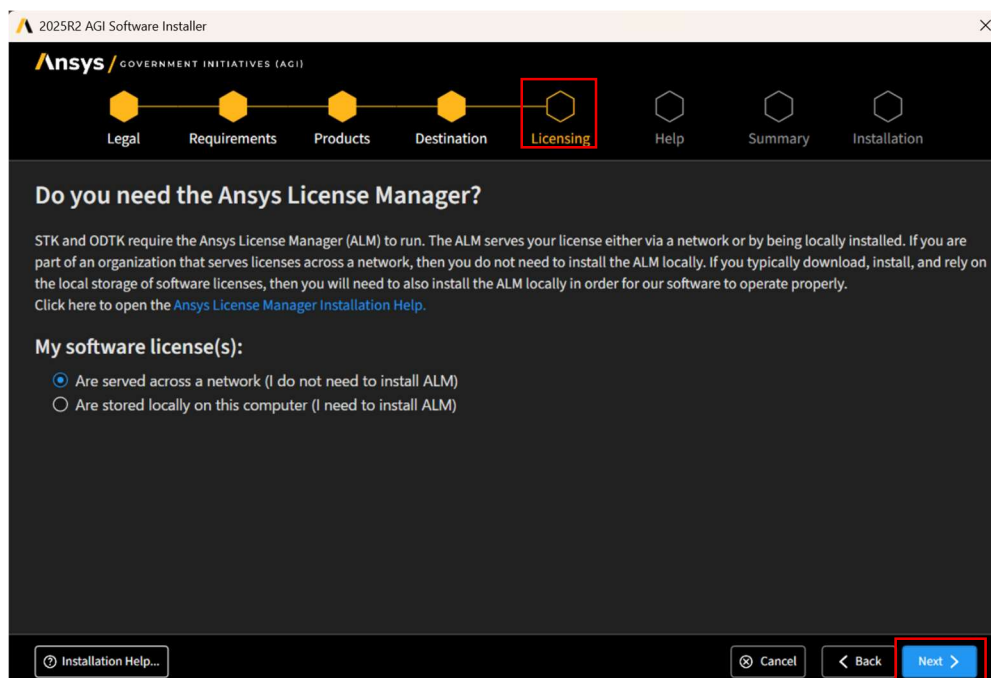


図 3.6 Ansys License Manager のインストール確認(未インストールの場合の画面)

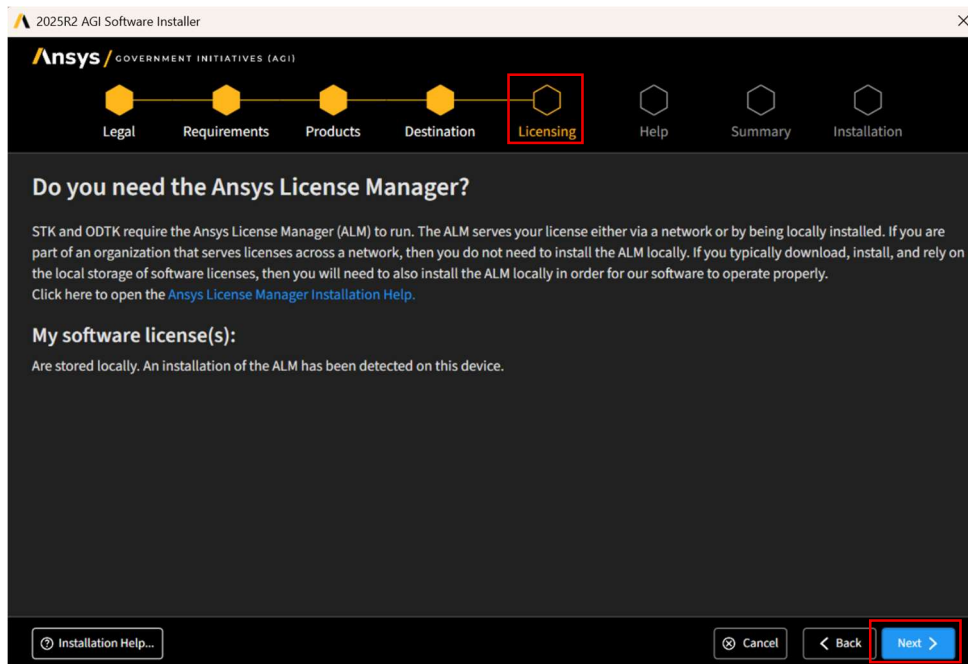


図 3.7 Ansys License Manager のインストール確認(インストール済みの場合の画面)

- 7) ヘルプのデフォルト設定を行います。インターネットに接続する環境がある場合は、「Use an online version of the help documentation」を選択してください。(図 3.8)こちらはインターネット経由でヘルプページに接続する方式です。インターネットに接続する環境がない場合は、「Use the local copy of the Help documentation」を選択してください。こちらはヘルプドキュメントのコピーをご利用のマシンに保存し、ローカルの環境でヘルプを参照する方式です。どちらかを選択した上で Next ボタンを押し次へ進みます。

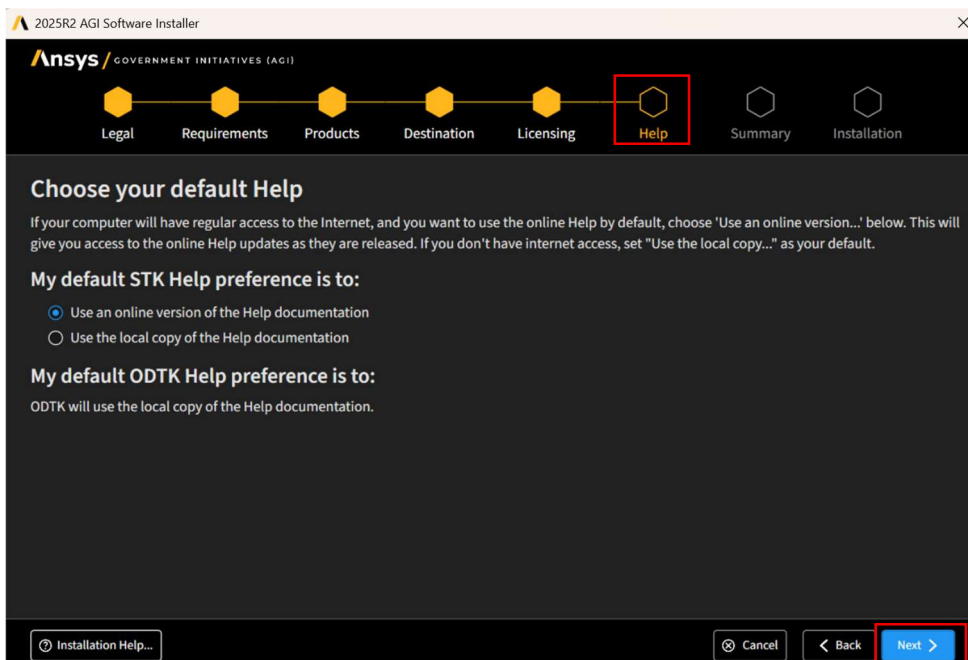


図 3.8 Help ページのデフォルト設定

8) インストール設定の最終確認画面です。(図 3.9) Install ボタンを押してインストールを開始します。

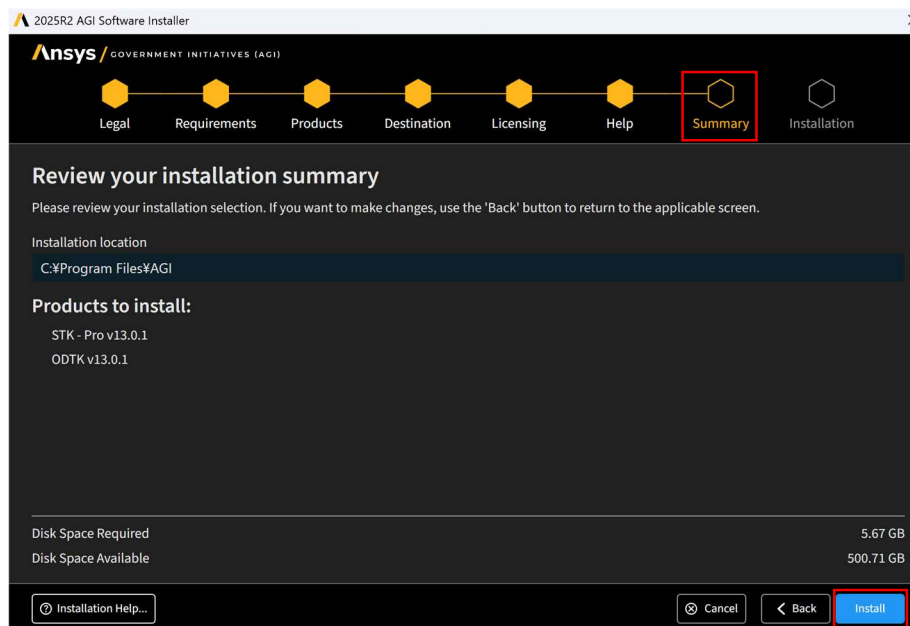


図 3.9 インストール設定の最終確認

STK12.3 以降、ライセンスの管理は従来(STK12.2 以前)のライセンス管理プログラム(AGI License Manager)ではなく、Ansys License Manager となりました。初めて ANSYS 製品または STK12.3 以降のバージョンを使用し、STK を使うマシンにライセンスファイルをインストールする場合は、6)にて必ず Ansys License Manager をインストールします。

また、OS のアップデート等に伴い Ansys License Manager をアップデートする場合には旧バージョンの Ansys License Manager をアンインストールしたうえで新バージョンをインストールします。(アンインストール方法は第 6 章)

インストールが完了すると、デスクトップに、STK13 と ODTK 13 のアイコンが表示されます。(図 3.10)

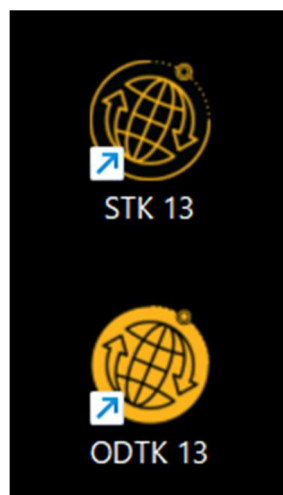


図 3.10 STK ODTK アイコン

3.2 その他インストーラ操作によるインストールが必要なモジュール・プラグイン

Ansys STK & ODTK は3つの主要製品(STK Pro & ODTK、STK Premium & ODTK、STK Enterprise & ODTK)として各モジュールがパッケージ化されています。AGI のウェブサイトからインストーラパッケージをダウンロードした場合は、セットアップに必要なインストーラがフォルダにまとめられています。一部のモジュールを除いては、それぞれの主要製品ごとに用意されたインストーラからインストールする必要があります。原則として、ご使用するライセンスに応じたインストーラによりインストールを行ってください。

また、MATLAB Connectors や Operators Toolbox などの一部プラグインに関しては、AGI のウェブサイトのダウンロードページから「Data and Auxiliary Extensions」にある「Ansys STK Resource Utilities」をダウンロードしてください。(図 3.11)

その後、「Ansys Resource Utilities v13.0.x」配下にある install.exe を実行することで使用可能となります。

Data and Auxiliary Extensions

Product Name	Size (MB)	SHA-256	Details
Ansys STK Resource Utilities (v13.0.1)	6,864	6F3767F2135F884...	Content
Cesium Ion SDK (v1.135.0)	114	69f39317e8d479d...	
Discovery STK Model Add-in (v1.3.0)	2	D491CE7161850DC...	
SpaceClaim STK Model Add-in (v1.3.0)	3	8FE47E9F3463A71...	
STK MATLAB Connectors (now part of the "Ansys STK Resource Utilities" download)			

図 3.11 インストーラパッケージに含まれないモジュールやプラグインのダウンロード画面

4. ライセンスファイルとサーバーの設定

4.1 ライセンスファイルの認証

ライセンスファイルの確認

ライセンスサーバーのインストール後、Ansys License Management Center アプリケーションを[管理者]として実行します。(スタート>ANSYS, Inc. License Manager > ANSYS License Management Center) ライセンスを設定していない初期状態では、トップ画面(View Status/Start/Stop License Manager)は図 4.1 のように表示されます。「The license manager is stopped」はライセンスが認証されておらずライセンスサーバーが起動していないことを表します。

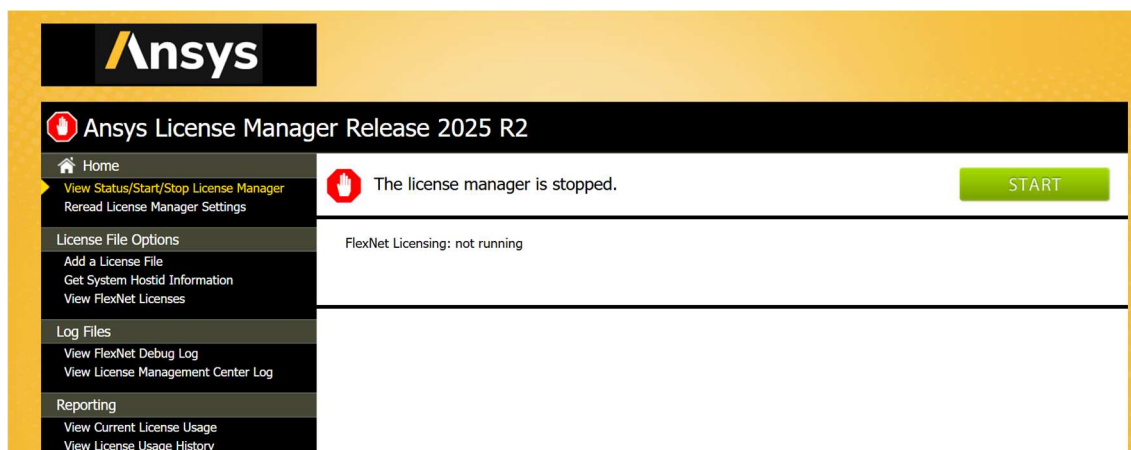


図 4.1 Ansys License Management Center:トップ画面

Ansys License Management Center からマシン自体の情報を確認することが可能です。画面左側のメニューより、「Get System Hostid Information」を選択すると、HOSTNAME (Server Name と同じ)、Disk Serial Number (Disk ID と同じ)、MAC Address が確認できます。

LSAS Tec もしくは、AGI から送付されたお手元のライセンスファイルを開き、内容を確認します。ライセンスファイルの上部に以下のような記載があります。

SERVER <Hostname or IPAddress> <Hostid> [TCP/IP port]
VENDOR ansyslmd [path to ansyslmd] [options="path to options file"] [port=daemon TCP/IP port]

赤文字で表記されているパラメーターは、ユーザー側で変更が可能です。上記に記載がある黒文字の Hostid は変更できません。赤文字で記載されているパラメーターの意味や、変更方法の詳細は、Ansys License Management Center の画面左側のメニューから View FlexNet Licensing Guide を選択し、表示された pdf の 29 ページ「SERVER Lines」の項、31 ページ「VENDOR Lines」の項をご参照ください。

ファイアウォールの設定

ライセンスサーバーマシンと STK がインストールされたクライアントマシンが異なる場合、サーバーマシン側でファイアウォールの設定が必要です。この設定によって、クライアントマシンから Ansys License Manager が動作するサーバーマシンに接続することができるようになります。

ライセンスサーバーマシンのファイアウォール(Windows Defender 等)にて、以下の 3 つの受信の規則を追加します。

- 1) TCP/IP port 1055 (ライセンスファイルにて変更可能です)
- 2) プログラム ansyslmd.exe (もしくは、ライセンスファイル で定義した Port)
参考:C:\Program Files\ANSYS Inc\Shared Files\licensing\winx64 にあります。
- 3) TCP/IP port 2325

上記の手順により、図 4.2 のように 3 つの受信の規則が設定された状態になります。

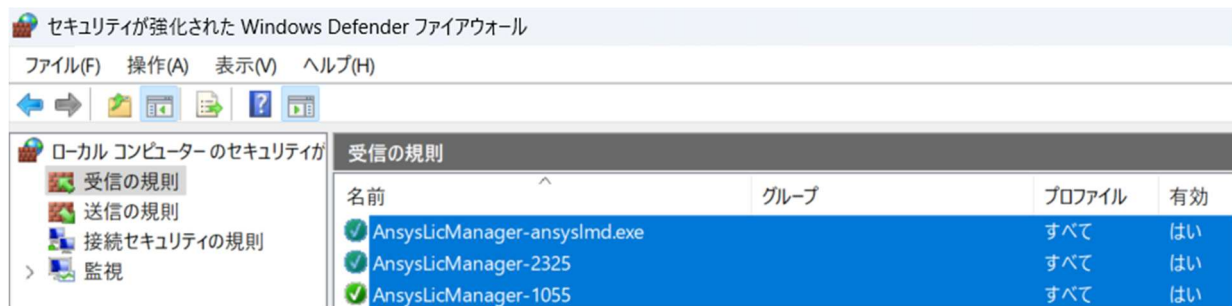


図 4.2 ファイアウォールの設定

詳しくは、第 7 章「トラブルシューティング」の 3) 接続ができない場合」をご参照ください

注： 実際の設定は、システム管理者、セキュリティ管理者に確認願います。

ライセンスファイルの指定

画面左側から「Add a License File」というページを選択し、ライセンスファイルを指定します。画面右側の「BROWSE」ボタンを押し、ライセンスファイルを選択します。以下の図のように確認のポップアップが表示されたら「Install License File」ボタンをクリックし、ライセンスを読み込みます。(図 4.3)

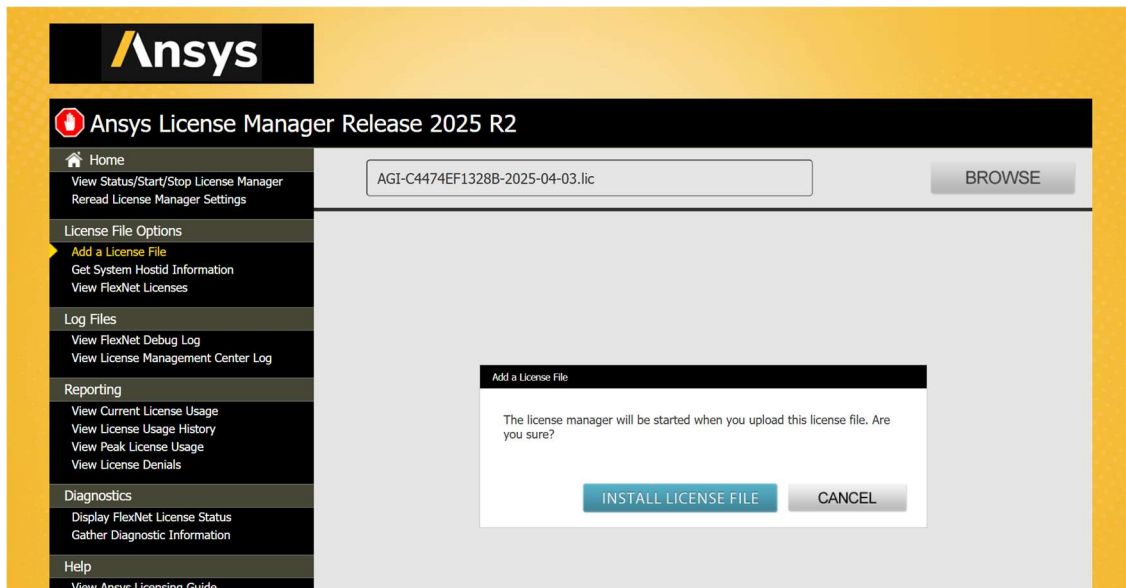


図 4.3 Ansys License Management Center: ライセンス選択画面

ライセンスが正常に読み込めた場合は、「The license file has been installed successfully」というメッセージが画面に表示されます。

再びトップ画面(View Status/Start/Stop License Manager)に戻り、ステータスを確認します。認証されていれば、緑色のチェックマークと共に「The license manager is running.」と表示されます。(図 4.4)

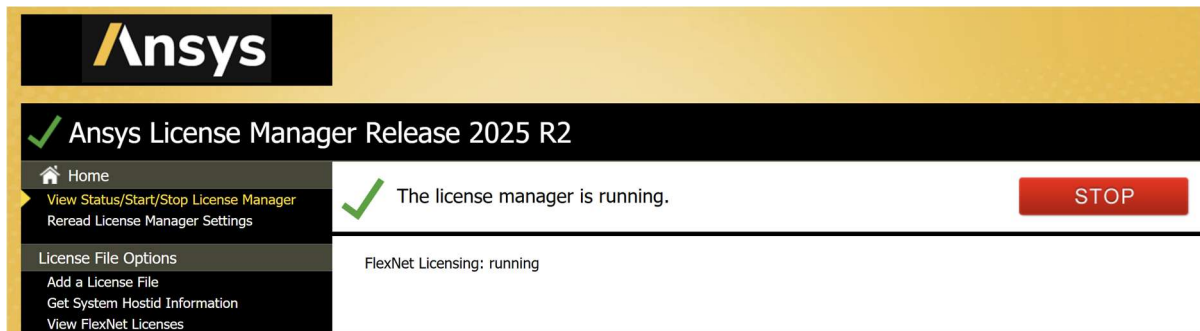


図 4.4 Ansys License Manager ステータス確認画面

4.2 ライセンスサーバーに接続する

STK をインストールし、実行するクライアントマシンから、Ansys Licensing Client Settings アプリケーションを[管理者]として実行します。(スタート 13>Ansys Licensing Client Settings – STK ODTK)ここで、クライアントをライセンスサーバーに接続します。(図 4.5)

注: Ansys License Management Center を実行するサーバーマシンと、STK を実行するクライアントマシンは同一マシンでも、別々のマシンでもかまいません。

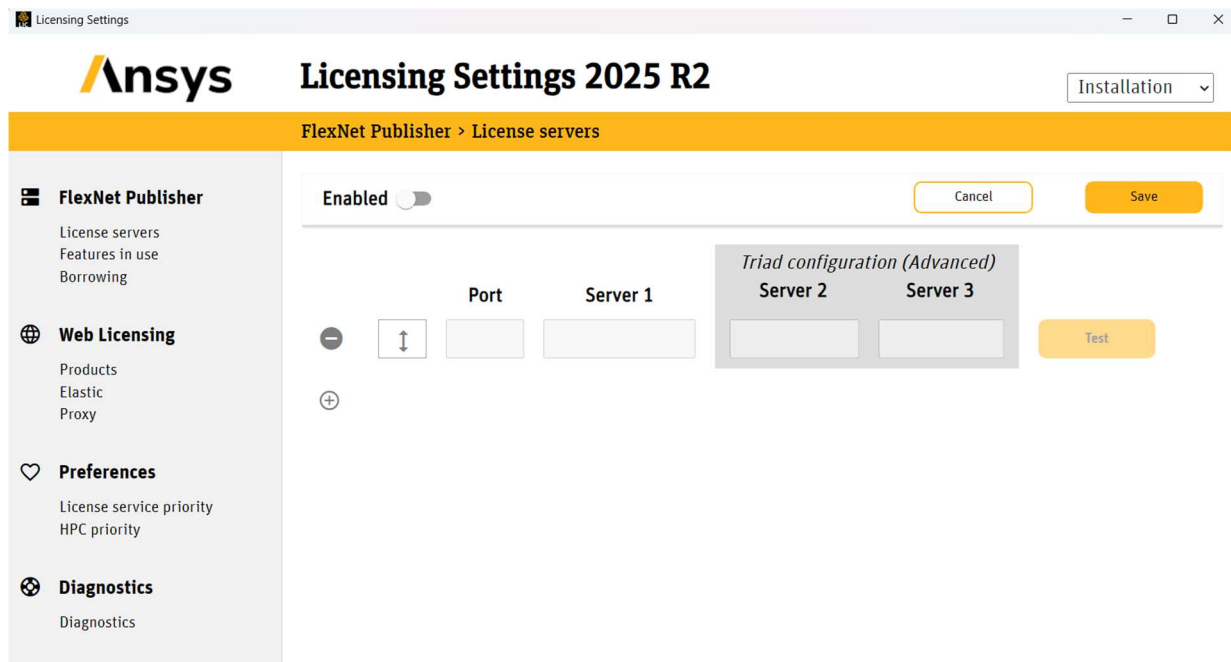


図 4.5 Ansys Licensing Client Settings Utility

左側のメニューの「FlexNet Publisher」の下に「License Servers」を選択します。上部に表示されている Enable ボタンを有効にし、Port と Server1 を指定します。デフォルトのポート番号は 1055、Server1 にはサーバーマシンの Host Name（Server Name）を指定します。Port と Server1 を記入後「Test」ボタンを押し、右側に緑のチェックマークが出れば設定は完了です。「Save」ボタンをクリックし、設定を保存します。

最後に STK を起動し、動作やライセンスを確認します。STK の画面上部のツールバーの「Help」から、「License Viewer」を選択すると、有効なライセンスが確認できます。（図 4.6）

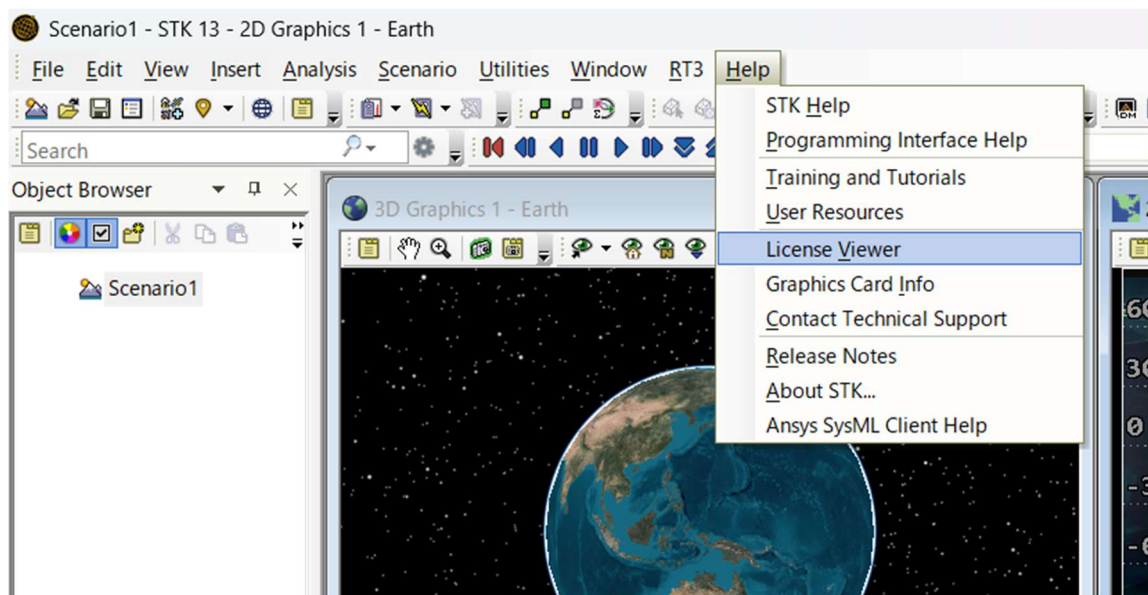


図 4.6 STK から License Viewer を確認

5. STK、ODTK のアンインストール

スタート>AGI Support Tools>AGI Software Uninstaller を開きます。(図 5.1)アンインストールする項目にチェックを入れて Remove ボタンを押します。

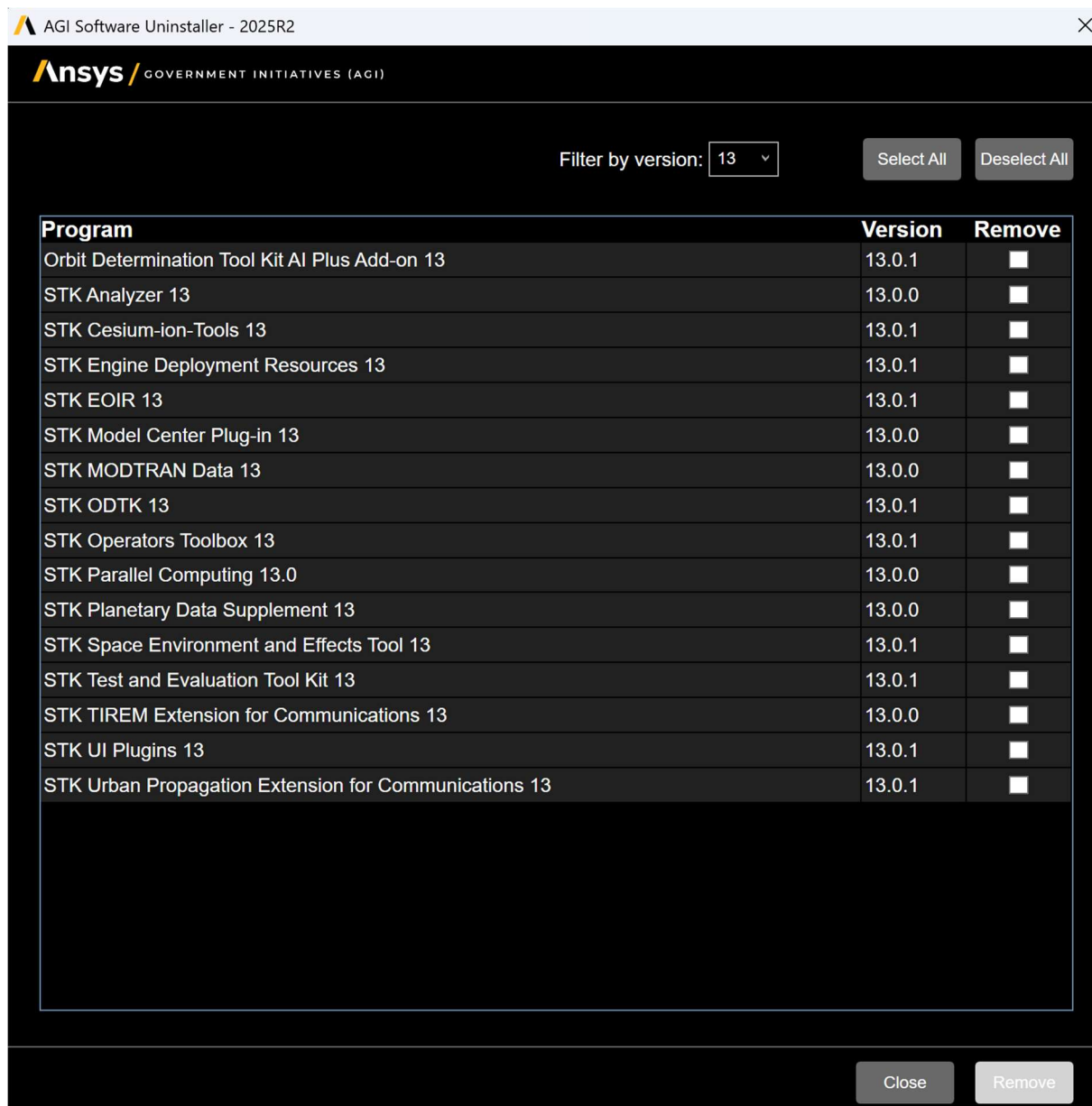


図 5.1 アンインストール項目選択画面

6. Ansys License Manager のアンインストール

Ansys License Manager は以下の順序でアンインストールすることができます。
※灰色の枠で囲ってあるものはコマンドプロンプト上で実行するコマンドです。

- 1) スタートメニューから管理者権限でコマンドプロンプトを管理者として実行します。
- 2) Ansys License Manager 2024 R1 以降のバージョンをご利用の場合は以下のコマンドを実行し Ansys License Manager を停止させます。

```
sc stop "ANSYS, Inc. License Manager CVD"  
sc delete "ANSYS, Inc. License Manager CVD"
```

Ansys License Manager 2024 R1 より前のバージョンをご利用の場合は以下のコマンドを実行しバージョンの Ansys License Manager を停止、削除します。

```
sc stop "ANSYS, Inc. License Manager"  
sc delete "ANSYS, Inc. License Manager"
```

- 3) 以下のコマンドを実行し、Ansys Licensing Tomcat service を停止、削除します。

```
sc stop "ANSYSLicensingTomcat"  
sc delete "ANSYSLicensingTomcat"
```

- 4) 同じマシンに Ansys License Manager を再インストールする場合は、以下のパスにある License_files フォルダからライセンスファイル (.lic) を任意の場所(デスクトップなど)にコピー、保存します。

"C:¥Program Files¥ANSYS Inc¥Shared Files¥Licensing¥license_files"

- 5) 以下のサービスが Windows の「Services」で動いていないことを確認します。動いていたらマシンを再起動し、もう一度上記のステップを行い、以下のサービスが動いていないことを確認します。

- ・ ANSYS, Inc. License Manager
- ・ ANSYS Licensing Tomcat

- 6) 以下のコマンドを実行し、「Licensing」ディレクトリを削除します。
※このコマンドは License ディレクトリをライセンスファイルごと削除します。⑥で確実にライセンスファイルをコピー、保存していることを確認してください。

```
rmdir /S "C:¥Program Files¥ANSYS Inc¥Shared Files¥Licensing"
```

- 7) 以下のコマンドを実行し、スタートメニューから Ansys License Manager フォルダを削除します。

```
rmdir /S "C:¥ProgramData¥Microsoft¥Windows¥Start Menu¥Programs¥ANSYS Inc. License Manager"
```

- 8) スタートメニュー→環境変数を開き、ANSYSLIC_DIR と ANSYSLIC_SYSDIR が設定されている場合は削除します。

以上で Ansys License Manager のアンインストールは終了です。

7. トラブルシューティング

7.1 ライセンスに関するトラブルシューティング

STKを起動しようとする時、“A current STK license could not be found. Start Ansys Client Licensing Settings to assist?”というメッセージが表示されて STK が起動できない場合があります。これはライセンス認証がうまくできていないときに生じます。このエラーに関するトラブルシューティングをご紹介します。(出典: <https://analyticalgraphics.my.site.com/faqs/articles/Knowledge/Ansys-Licensing-Troubleshooting-Checklist>)

1) サーバーの情報が間違っている

Ansys Licensing Client Settings アプリケーションを開きます。正しく情報が入力されているか確認してください。(図 7.1)ライセンスがネットワークで共有されている場合、ライセンスの管理者に正しいライセンス情報を確認してください。Ansys License Manager がローカルで動いている場合、デフォルトの 1055 ポートを使用し、Server1 の名前に localhost を指定してください。

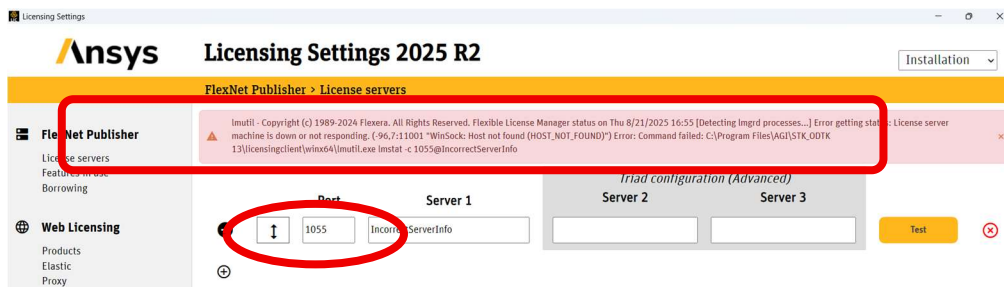


図 7.1 サーバーの情報を間違えて入力した場合のエラー

※Ansys Licensing Client Settings は管理者権限で実行する必要があります。管理者権限で実行しなかった場合、ポートやサーバーの設定を保存できません。

2) すべてのライセンスが使用中

クライアントツールで FlexNet Publisher の中にある Features in use をクリックします。チェックアウト(払い出し)可能なライセンスが余っているか確認してください。(図 7.2)

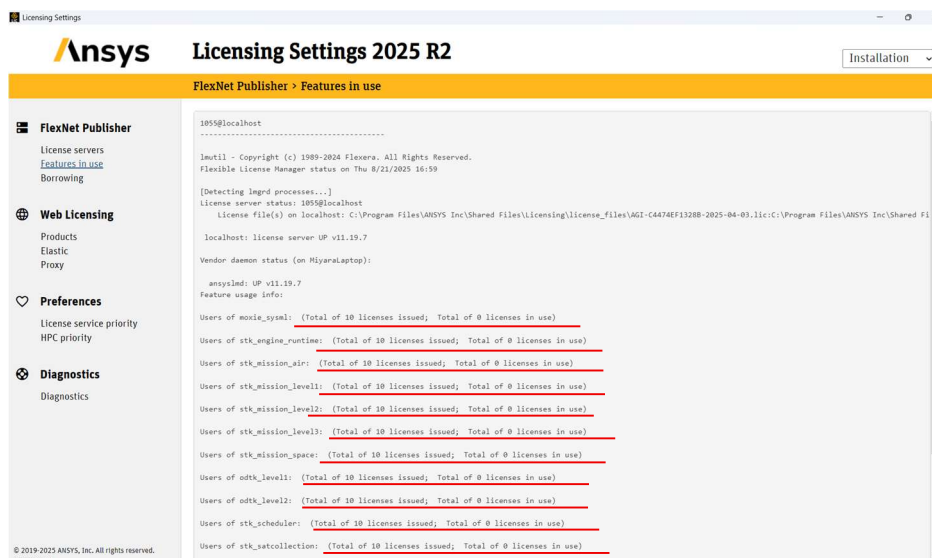


図 7.2 使用できるライセンス数

Ansyes License Manager から同じレポートを確認できます。

3) 接続ができない場合(図 7.3)

Ansyes License Manager と有効なライセンスがインストールされており、サーバーが実行中である
と表示されているにもかかわらず接続エラーが続く場合は、Ansyes License Manager を再起動して
ください。

```
(lmgrd) ansyslmd exited with status 28 (Communications error)
(lmgrd) Since this is an unknown status, license server
(lmgrd) manager (lmgrd) will attempt to re-start the vendor daemon.
(lmgrd) REStarted ansyslmd (pid 103864)
```

図 7.3 接続エラー

Ansyes License Manager を再起動してもエラーとなる場合、以下の原因があります。

a. ファイアウォールの例外:サーバーのファイアウォールが有効になっている場合、サーバーの設定
で以下の例外を追加する必要があります。(図 7.4)

- Server(lmgrd) – TCP/IP 1055 (ライセンスファイルにて変更可能です)
- Vendor/daemon – ansyslmd.exe (もしくは、ライセンスファイルで定義した Port)
- Interconnect – TCP/IP 2325

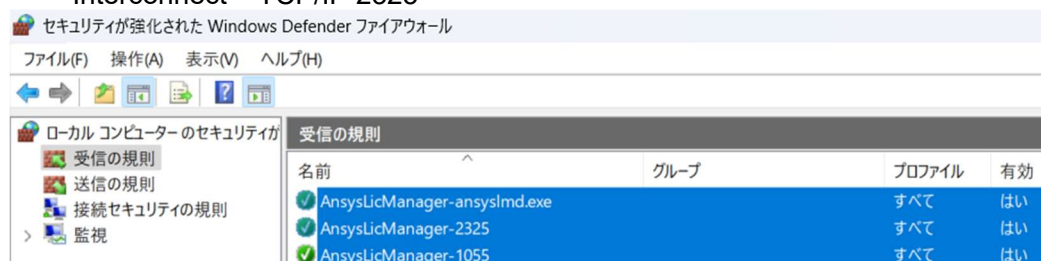


図 7.4 ファイアウォールの設定

server と daemon はライセンスファイルで以下のように修正することができます。

「SERVER Servername ServerHostID 1055」

「VENDOR ansyslmd port=12345」

ライセンスファイルの編集後、変更を反映させるために License Service Manager を停止、再起
動する必要があります。

b. ポートまたはサーバーが間違っている

client utility に入力しているポートまたはサーバーの名前が間違っている、もしくは必要な
値が変更された可能性があります。ライセンスの管理者に正しい入力値を問い合わせてください。

c. 環境変数 ANSYSLMD_LICENSE_FILE が間違っている

スタートメニューから環境変数の設定を開き、ANSYSLMD_LICENSE_FILE が環境変数に
設定されているか確認してください。設定されている場合、値は port@servername となりま
す。この情報が正しいことを確認してください。なお、設定されていない場合は設定する必要は
ありません。

d. インストールされているライセンスファイルの有効期限が切れている

ライセンスの管理者にライセンスがまだ有効であるか確認してください。

e. ライセンスファイル中の host name file または host ID が間違っている

ライセンスファイル中の Host ID の情報は手動で編集しないでください。ライセンスの管理者
に正しい情報を確認してください。

4) ライセンスサーバーが動いていない

以下のように Ansys License Manager が止まることがあります。(図 7.5)

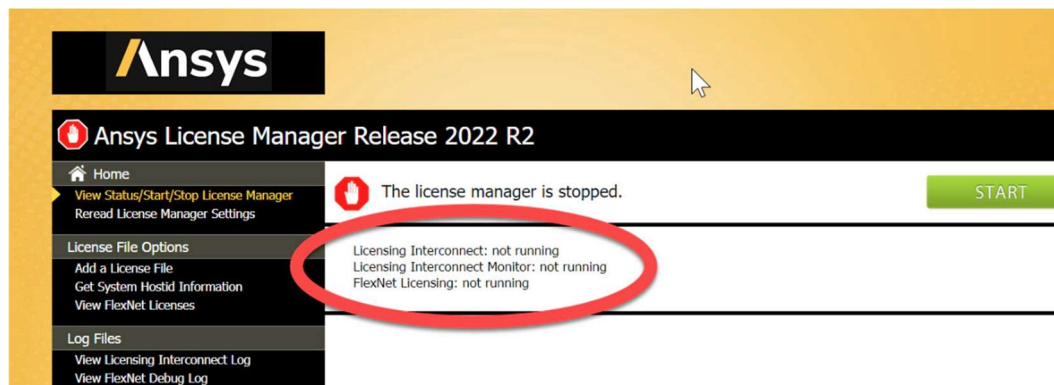


図 7.5 ライセンスサーバーが動いていない場合の画面
(画像は旧バージョンの License Manager)

STK を起動するには有効なライセンスを使用して Ansys License Manager がライセンスサーバー上で動いている必要があります。有効なライセンスは Ansys License Manager を実行する前にインストールする必要があります。より詳しい情報は以下の URL をご参照ください。

<https://analyticalgraphics.my.site.com/faqs/articles/Knowledge/How-to-license-STKv12-3?r=121&ui-knowledge-components-aura-actions.KnowledgeArticleVersionCreateDraftFromOnlineAction.createDraftFromOnlineArticle=1>

マネージャーを起動するには以下の作業を行います。

1. Ansys License Manager を開く。
2. 画面右側にある緑の Start ボタンをクリックする。
3. 画面左側のDiagnostics → Display FlexNet License Status を選択してライセンスがチェックアウト可能であることを確認します。

5) システムクロックをチェックする

一時ライセンス/評価ライセンス/リースライセンスを使用している場合、FlexNet に組み込まれているセキュリティ機能が原因でライセンスのチェックアウトに失敗する場合があります。Ansys License Manager 画面左側の Log Files -> View FlexNet Debug Log を確認してください。ライセンスがチェックアウトされた直後にすぐチェックインされた場合、システムクロックが動いていないか、FlexNet が未来の日付のファイルを検出している可能性があります。例えば以下ようになります。

21:36:55 (ansyslmd) OUT: "stk_mission_level1" ...

21:36:55 (ansyslmd) IN: "stk_mission_level1" ...

これがシステムクロックエラーによって引き起こされていることを確認するには、以下の作業を行ってください。

1. 「C:\Users\[ユーザー名]\AppData\Local\Temp*.ansys」ディレクトリへ移動する。
2. 「ansyscl.xxxxxxxxxx.log」または「licdebug.xxxxxxxxxx.STK13.###.out」という名前のファイルを探す。
3. ファイルを開き、「System Clock」と検索し、図 7.6 のような文が見つければシステムクロックエラーが原因です。

```
2022/10/31 14:13:33 DENIED      stk_mission_level1      22.2 (2022.0502)      1/0/0/0      1/1/1/1 21212:STK12:she
Request name stk_mission_level1 does not exist in the licensing pool.
System clock has been set back.
Feature:      stk_mission_level1
License path: 1055@localhost;
FlexNet Licensing error:-88,309
```

図 7.6 システムクロックのエラー

これを修正するにはシステムクロックを修正します。システムクロックが動かないか、すでに正しければ未来の日付を示しているファイルを探し、修正する必要があります。

※ファイル作成日、最終アクセス日、修正日のすべてを確認する必要があります。

6) ライセンスサーバーが一部しか動いていない

以下のようにライセンスサーバーが部分的に動いている場合があります。(図 7.7)

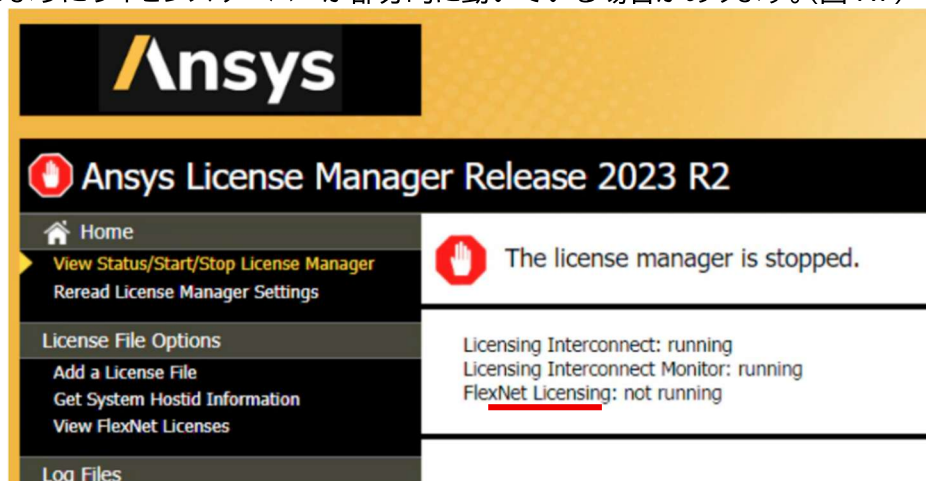


図 7.7 ライセンスサーバーが部分的に動いている場合の画面
(画像は旧バージョンの License Manager)

Licensing Interconnect: running

Licensing Interconnect Monitor: running

FlexNet Licensing: not running

以下のように修正します。

1. タスクマネージャーを管理者権限で開く。
2. lmgrd.exe を探し、右クリックしタスクの終了を選択する。(図 7.8)

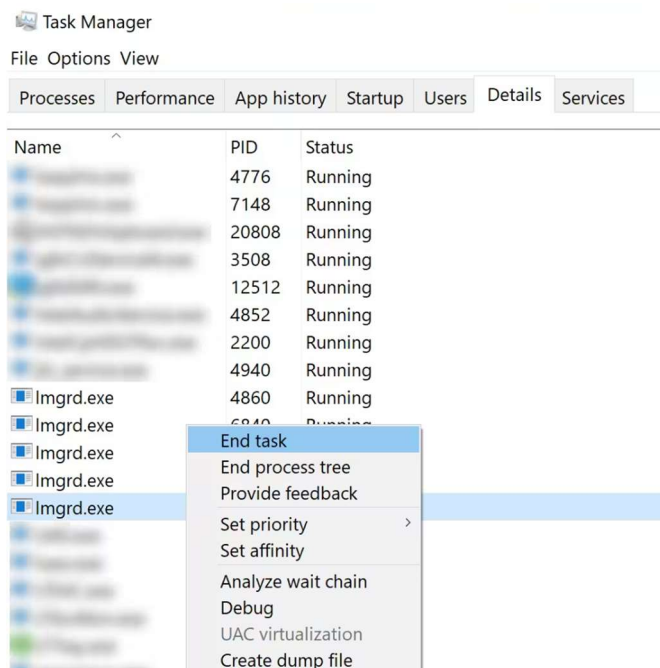


図 7.8 タスクマネージャー

その後 Ansys License Manager を起動できます。

- 7) STK と Ansys License Manager のバージョンの互換性がない
STK version 12.8 以降のバージョンでライセンスのチェックアウトをするには Ansys License Manager 2024 R1 (FlexNet version 11.19.4.2)以降が必要です。
一般的に、STK をアップデートした場合は Ansys License Manager もアップデートする必要があります。
- 8) 「A current STK License could not be found」のメッセージとともに Ansys.com のログイン画面が表示される(図 7.9)

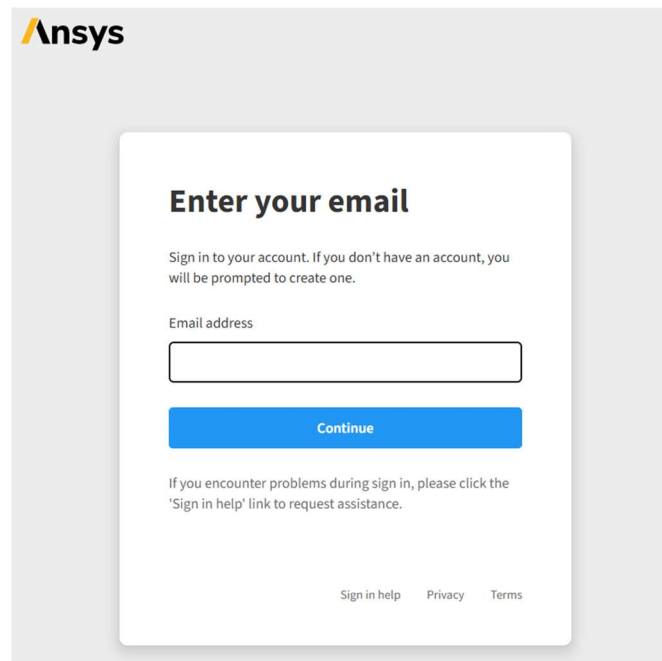


図 7.9 Ansys アカウントログイン画面

管理者権限で Ansys Licensing Client Settings アプリケーションを開き、Web Licensing → Products ページへ進み、Enabled のスライダーがオフになっていることを確認します。

現在 STK は Web ライセンスを使用できないので、このバーがオンになっていると STK アプリケーションは起動できません。接続に関してこのページでエラーが出た場合、それらもすべて閉じ、Enable スライダーをオフにします。このページに保存機能はありませんが、Ansys Licensing Client Settings ツールを閉じる際に変更は保存され、STK アプリケーションが起動します。

Web ライセンスが利用可能かどうかを確認するもう1つの方法は、Ansys License Client Settings ツールのデスティネーションファイルを確認することであり、デフォルトでは「C:\Program Files\AGI\STK_ODTK 13\Shared Files\Licensing\ansyslmd.ini」です。管理者権限でなければこのファイルは編集できません。その場合このファイルをデスクトップにコピー、編集し、上書きします。以下のように、「ANSYS_LICENSING_SHARED_WEB=1」の行を削除するか、値を 0 に変更します。

✗ ANSYS_LICENSING_SHARED_WEB=1 #(ON)

✓ ANSYS_LICENSING_SHARED_WEB=0 #(OFF)

- 9) サーバー名に「localhost」を指定している

「localhost」を 127.0.0.1(ループバックアドレス)に置き換えてください。これらの値はどちらもローカルマシンを指しますが、IT 部門での定義方法によって異なる用途で使用される場合があります。

10) クライアントサーバーでキャッシュファイルが溜まりすぎている

以下の手順でクライアントにキャッシュされたファイルを削除することができます。

1. スタートメニューの検索フィールドで「%appdata%」と入力しエンターキーを押します。ウィンドウが開き、ウィンドウの中で「Ansys」という名前のフォルダを「Ansys_old」と変更します。
2. スタートメニューの検索フィールドで「%temp%」と入力しエンターキーを押します。ウィンドウが開き、ウィンドウの中で「.ansys」という名前のフォルダを「.ansys_old」と変更します。

上記のトラブルシューティングで解決できなかった場合、Ansys License Manager -> Log Files -> View Flex Net Debug Log をコピーし、サポート担当までお送りください。

7.2 その他トラブルシューティング

その他トラブルシューティングをご紹介します。

1) OneDrive 起因で STK のシナリオが開けない

OneDrive との同期を行っている場合、デフォルトで設定されている以下の STK シナリオ保存ディレクトリが OneDrive 配下に変更されてしまいます。

✕ パス:C:\Users\[ユーザー名]\OneDrive\ドキュメント

OneDrive のパスには全角文字が含まれるため、STK シナリオを開こうとすると「引数エラー」となります。(STK は全角文字に対応していません。)

以下の手順で再度 STK の設定を行ってください。

1. OneDrive の同期を解除する
2. Reset Current User Settings(スタート>Reset Current User Settings)を実行し、STK の設定をリセットする

STK を起動し、再度初期設定を行う(このとき、STK のシナリオ保存先がユーザーフォルダー直下の Documents になっていることを確認する)

✓ パス:C:\Users\[ユーザー名]\Documents

2) STK シナリオが書き込みエラーにより保存できない

STK シナリオの保存先に「管理者権限」が必要なディレクトリが設定されていることが原因で書き込みエラーが発生します。

その場合、「Reset Current Users Setting」を起動し、STK シナリオの保存先をリセットしてください。その後、再度 STK を起動した際に、シナリオの保存先を設定できますので、管理者権限が不要なディレクトリを設定します。(基本的にデフォルトで設定されているディレクトリで問題ありません。)

8. お問い合わせ先

インストール作業を始め、STK 操作に関するご質問を受け付けております。
各種ご質問、お問合せは以下のお問合せ先まで、お気軽にご連絡下さい。

LSAS Tec 株式会社 サポート担当
メールアドレス: japan-support@lsas-tec.co.jp
TEL: 03-6629-8421 (9:30-17:30)

以上